

**転移期精巣腫瘍に対する化学療法の治療成績に関する調査研究
「公開文書」**

研究課題名：精巣腫瘍化学療法におけるテストステロン負荷テスト（以下 T テスト）
の実施状況に関する調査研究

意義：胚細胞腫瘍化学療法における T テストの実施状況を調査し、適切な hCG 測定時期及び判定法を明らかにし、各施設間で情報を共有することはわが国の胚細胞腫瘍診療体制をより向上させるためにきわめて有用であると考えられます。

目的：T テスト判定時期と判定基準を調査し、T テスト陽性と判断し無治療経過観察された症例の持続寛解率を明らかにする。あわせて治療前の背景因子や T テスト前の治療内容を調査し、どのような状況で下垂体性 hCG が偽陽性の要因となりやすいか明らかにする。

方法：2000 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日の間に筑波大学腎泌尿器外科において化学療法実施中または実施後に T テストを施行した 16 歳以上の進行性胚細胞腫瘍症例を対象とする。該当症例の診療録を用いて後方視的に調査する。

研究機関名：筑波大学

研究者名：人間総合科学医学医療系 河合弘二

保有する個人情報に関する利用目的：個人情報が特定できない情報のみを用いて学会、論文発表いたします。

保有する個人情報の開示手続：下記の保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先にご連絡ください。情報に関する開示要求に対応させていただきます。

保有する個人情報の問い合わせの連絡先：0 2 9 - 8 5 3 - 3 2 2 3 (平日 9:00-17:00)

人間総合科学医学医療系 河合弘二